

# がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「くちばし」（きょうかしよ 52～59 ページ）を がくしゅうします。

(1) 57<sup>ページ</sup>と 58 ページを こえに 出して よみます。よんだあとに、つぎのクイズ<sup>クイズ</sup>にこたえましょう。

- ① **かたちクイズ**……どんな かたちの くちばしですか。
- ② **なまえクイズ**……なんの くちばし でしょうか。
- ③ **つかいかたクイズ**……くちばしを、どうやって つかいますか。
- ④ **たべものクイズ**……なにを、たべますか。

(2) クイズのこたえを、ノートや とりくみシートに かきましよう。  
※きょうかしよの ぶんや ことばを、かきうつして みましよう。

(3) 「くちばし」（52～59 ページ）をはじめから、さいごまでよみます。いちばん おどろいたくちばしは どれですか。わけと いっしょにはなましよう。

わたしは、 が、いちばん おどろきました。  
どうしてかと いうと、 からです。

◆「おもちゃと おもちゃ」（きょうかしよ 60～61 ページ）をがくしゅうします。

(1) 60 ページのぶんを、ゆっくり、おおきなこえで、よんでみましよう。

(2) 61 ページにでていることばを よんでみましよう。そのあと、ノートや とりくみシートに 3かいつれんしゅう しましよう。

※「や」「ゆ」「よ」は、いのだんの もじ（き・し・ち・に・ひ・み・り・ぎ・じ・び・ぴ）のあとにつきます。かくときは、みぎうえのちいさな ますの なかに、かきます。



※「へ」は、ことばと ことばを、つなげるはたらきがあります。よむときは、「え」とおなじ おとになります。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「くちばし」（3）では、お子さんが驚いたくちばしと、そのわけを聞いてください。読んだことをもとに、じぶんりのわけがはなせた時には大いに認めてあげてください。
- ・「おもちゃと おもちゃ」は、拗音<sup>ようおん</sup>の学習です。「しゃ」は、「し」と「や」の2文字で表しますが、「しゃ」と1拍で発音します。例えば、「病院（びょういん）」と「美容院（びょういん）」では、「病院」が「びよ・う・い・ん」が4拍に対して、「美容院」は「び・よ・う・い・ん」と5拍になります。(1)(2)の音読では、ゆっくりはっきり読むように伝え、正しく発音できているか確かめてあげてください。

## 【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<べんきょうすること>

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 54 ページ～）

きょうかしよの 54 ページを ひらこう。  
こどもがつけている ゼッケンをあわせて 8をつくろう。

(1) みどりのゼッケンをつけたペアで8をつくろう。

※3くみ みつけられるかな。

$$\square + \square \qquad \square + \square$$

$$\square + \square$$

(2) あおのゼッケンとみどりのゼッケンのペアで8をつくろう。

※2くみ みつけよう。

$$\square + \square \qquad \square + \square$$

(3)  $5 + 3 = 8$ の しきになる おはなしを つくろう。

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 56 ページ）

おなじ こたえに なる しきを せんで むすぼう。

$2 + 3 =$

$0 + 9 =$

$7 + 1 =$

$4 + 1 =$

$4 + 5 =$

$5 + 3 =$

に あてはまる かずを かきましょう。

$6 + 3 = \square$

$4 + 3 = \square$

$2 + \square = 9$

$5 + \square = 8$

$\square + 1 = 1$

$\square + 1 = 3$

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ぜんぶでいくつ（教科書 P54～56）

- ・たし算の学習でも、数を柔軟に見ることが大切になります。「答え」があっているかまちがっているかのみを考えるのではなく、答えから式を考えたり、あといくつたすと答えになるのかと考えたりする中で、「数の見方」を広げていきます。
- ・式から問題文（＝お話）を考える活動も同様の効果が期待できます。